



行政並財政整理要綱
右謹テ御覽ニ供ス

大正十三年十月

内閣總理大臣子爵加藤高明

行政並財政整理要綱

第一

第一



第一

第一

第一

第一

第一

第一

第一

第一

第一

第一

第一

第一

内

附

大正十四年度歳出整理案總表

大正一三〇一

所管別	大正十四年度整理セザル標準豫算額		削減額		繰延額		計		差引 大正十四年度豫算額
	基本額	金額	基本額	金額	基本額	金額	基本額	金額	
經常部	四五〇〇〇	四五〇〇〇	〇	〇	〇	〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇
皇室費	四五〇〇〇	四五〇〇〇	〇	〇	〇	〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇
外務省	一七二七三六	二九四三四	〇	〇	〇	〇	一四一九三六二	三〇五四三九	一四〇六二九九七
内務省	四二二三九六	八一九八四六	〇	〇	〇	〇	三四〇五五六八	三二九三〇四九	三九〇三〇九四
大蔵省	三三七八七四	三〇八三三五	〇	〇	〇	〇	一六九八八八九	二九七九四一八	三九八二〇七〇
陸軍省	一七九八七〇	二二三八九二	〇	〇	〇	〇	一七三二七六六	二〇二九〇八二	一五九七九八九
海軍省	一三六五三九	二二二二五四	〇	〇	〇	〇	二二二二四七六	九五〇六六六	一七三〇三〇五
司法省	二九〇三九七	六九九二八	〇	〇	〇	〇	二二〇二九九九	七〇八〇〇	二八三三九九七
文部省	七五二五七六	四四三三六九	〇	〇	〇	〇	二二〇八四四三	二二〇八四四三	七三三〇四九七
農商務省	二八七〇三三	一〇八八三五	〇	〇	〇	〇	二八〇九四三七	四三三九五五	二四〇六三三七
逓信省	二四三三三六	一三三九九五	〇	〇	〇	〇	一〇九三四四三	八八四一九八	二四二九四五六
計	二〇六九五五三	五〇九七七一	〇	〇	〇	〇	一〇九八七五〇	五六三二一九三	一〇三三三四三

所管別	大正十四年度 整理セサル		削減額		繰延額		額計		差引
	標準算額	金額	金額	割合	金額	割合	金額	割合	
臨時部		三〇〇,〇〇〇							
外務省	二七五,五二〇		二四五,五二〇	八六,三三三	〇		二四五,五二〇	八六,三三三	一八九,二八七
内務省	二九四,八〇六	一七,〇一七	九一,五三八	一六	四六,六三四	〇	二四五,五二〇	八六,三三三	一九九,九七九
大蔵省	一五三,四九八	四七,七三四	三四,五四七	三四	九,五四九	六三,五〇〇	一〇,五三七	六三,五〇〇	八六,三三三
陸軍省	二八七,七四〇	二〇,三三七	一四,三三八	一八	二〇,四三〇	一〇,九八五	二七,四一四	二一,三八八	一〇,九八五
海軍省	一七〇,二五〇	二四,九七四	三三,〇〇〇	五	九,七三五	八,九五〇	一四,五一九	八,四五五	九,九五〇
司法省	三四七,七四一	九,三七一	一五,〇七一	三三	二〇,五二八	一三,五三三	二五,〇七〇	一五,二九二	一〇,九八五
文部省	二六八,七三八	三,八一三	二九,九九九	一四	二〇,九四三	一〇,七五三	二三,〇一七	一〇,五九九	一〇,五九九
農商務省	三六一,二五八	二二,三五五	五〇,八三三	五六	一四,九九五	六,四四九	二七,〇一三	二七,〇一三	二四,三九九
逓信省	八八,八四六	一,二九八	二四,九一一	二八	三,七九〇	一,二七七	三三,五五九	一,二三四	七,三三九
計	五,五五九,四八八	二,六〇,四四八	九四,〇六三	二一	二四,三八三	三,三三三	九七,七〇二	二六,三三五	四,三八四,七三三
合計	三,〇五七,〇四九	七,五七,七四三	五九,五三三	一一	二四,三八三	八,七五三	一〇,三九九	一八,一四九	一,四一八,七〇〇

行政整理要綱

内閣、各省、其他ノ官衙ニ亘リ部局ノ改廢等ヲ為スモノ左ノ如シ

内閣及内閣部内

一、内閣ニ属スル諸官衙ヲ統一スル考慮ヲ為スモノトス

二、賞勲局ト恩給局トヲ合シテ恩賞局トシ内閣及宮内省ニ属スル敎位ノ事務ヲモ併セ

管セシムルモノトス（宮内省ト交渉ヲ要ス）

三、統計局ヲシテ社會局ノ權限ニ属シタル勞働

統計ノ事務ヲ併セ掌ラシム

外務省及外務部内

一、臨時平和條約事務局ヲ廢ス

二、臨時調査部ヲ廢ス

三、參事官ヲ廢ス

四、對支文化事務局ヲ廢ス

五、商務官ヲ廢ス

内務省及内務部内

一、都市計畫局ヲ廢ス

二、參事官ヲ廢ス

三、社會局統計課ハ内閣統計局ニ移ス

四、社會局健康保險部ヲ廢ス

五、復興局技監ヲ廢ス

六、警察講習所長ハ内務高等官ノ兼任トス

七、特殊財産管理局ヲ廢ス

大藏省及大藏部内

一、税關ノ權限ヲ擴張シ現在港務部ヲ置ケル地

ノ税關ニ於テハ港務海港檢疫事務及開港

港則ニ依ル港内水上警察事務ヲモ併セ掌

ラシム

二 税關ハ植物検査ニ關スル事務ヲ併セ管スル

モノトス

三 稅務監督局ハ八局ヲ改メテ七局トス

四 海外駐劄財務官一人ヲ廢ス

五 參事官ヲ廢ス

陸軍省及陸軍部内

一 旅來官房ニ於テ掌リタル會計事務ハ之ヲ經理局ニ併セ掌ラシム

二 法務局長ハ高等軍法會議法務官ヲシテ之ヲ

兼ホシム

三 參事官ヲ廢シ別ニ書記官ヲ置ク

四 常設師團四箇ヲ減ス(但ニ新施設ノ實現ニ關

聯ス)

五 旅團其他團體及官衙學校ハ師團教ノ減少

ニ應シ相當減少又ハ縮スルモノトス

六 陸軍各部ノ組織ニ相當整理ヲ加フ

七 小學校教員ノ一年現役制ヲ改メ相當ノ短縮ヲ

加フ(短縮期間ハ陸軍文部兩者ニ於テ協議ス)

八 恩給事務ニ従事スル臨時増置職員(勅令ニ)ヲ廢ス

九、陸軍編修官ヲ廢ス

一〇、陸軍東京經理部ヲ廢ス

一一、臨時陸軍中央金櫃部ヲ廢ス

一二、陸軍幼年學校二校ヲ廢ス

一三、聯隊區司令部ヲ減シテ五十七トス

一四、現役大將・特・副官ヲ附屬セシムルノ制ヲ廢ス

海軍省及海軍部内

一、機關局ヲ廢ス

二、法務局長・高等軍法會議法務官ヲシテ之ヲ兼
示シム

三、參事官ヲ廢シ書記官ヲ置ク

四、海軍各部局ノ組織ハ相當整理ヲ加フ

五、舊型艦艇ハ相當程度ニ廢棄又ハ繋索船ヲ行フ

六、常備第一第二二艦隊ニ對シ相當ノ縮少ヲ加ヘ除

隊艦ハ多ク豫備艦ニ編入ス

七、豫備艦ノ定員ハ努メテ減ク、方針ヲ株ルモノ

トス

八、遠航練習艦ハ大正十四年度ハ一隻ニ限ル

九、元帥副官(專任)シ一人ニ限定ス

一〇、行費及恩給事務臨時増置職員ヲ廢ス

一、臨時海軍監獄ヲ廢ス
二、海軍參考館ヲ廢ス
三、旅順防備隊ヲ廢ス
司法省及司法部内

一、人事局ヲ廢ス
二、参事官ヲ廢ス
三、區裁判所ノ權限ヲ擴張ス

文部省及文部部内
一、逓信省所管商船學校ヲ文部省ニ移管ス
二、維新史料編纂事務局長ヲ廢ス

三、参事官ヲ廢ス

農商務省及農商務部内

一、農商務省ヲ農林省及商工省ノ二トス
二、農林省ニ内局トシテ左ノ四局ヲ置ク

農務局

山林局

水産局

畜産局

食糧ニ関スル事務ハ農務局ニ於テ掌ルモノトス
参事官ヲ置カス

三、左記諸官衙、農林省ニ屬セシム

林區署

水産講習所

種馬牧場

種馬育成所

獸疫調査所

農事試験場

蠶業試験場

生絲検査所

茶業試験場

種羊場

畜産試験場

園藝試験場

林業試験場

四、種羊場ハ北海道所在、モノヲ存シ他ヲ廢ス

五、畜産試験場ハ千葉ノ本場ノミヲ存シ他ヲ廢ス

六、林業試験場ハ目黒本場ノミヲ存シ他ヲ廢ス

七、大林區署中熊本及鹿兒島、大林區署ヲ合セテ

一トス

八、製材所ハ之ヲ拂下ルル、方針ヲ執ルモノトス

大植物検査所ハ之ヲ大蔵所管税関ニ移ス
一、商工省、内局トシテ左ノ三局ニ所ヲ置ク

商務局

工務局

鑛山局

度量衡検査所

地質調査所

多事官ヲ置カス

一、左記諸官衙ハ商工省ニ屬セシム

特許局

鑛務署

製鐵所

絹業試験所

工業試験所

花筵検査所

臨時窒素研究所

燃料研究所

陶磁器試験所

一、商品陳列館ハ之ヲ廢ス

一、特許局法長ヲ廢ス

一、製鐵所次長ヲ廢ス
逓信省及逓信部内

一、監察官ヲ廢ス

二、参事官ヲ廢ス

三、航空局ヲ外局ヨリ移シテ内局トス

四、恩給更正郵便貯金獎勵ノ事務ニ當ル臨時

職員ヲ廢ス

五、商船學校ヲ文部所管ニ移ス

道廳及府縣並其部内

一、北海道產業部長ヲ廢ス

二、府縣產業部長ヲ廢ス

三、郡役所ノ廢合ヲ行フ

四、港務及海港檢疫ノ事務ヲ税関ニ移ス

各種ノ委員會ヲ廢止スルモノ左ノ如シ

一、法規整理委員會

二、帝國經濟會議

三、臨時條約改正調查委員會

四、臺灣調查會

五、神社調查會

六、明治神宮造營局評議委員會

- 七、史蹟名勝天然記念物調査會
- 八、臨時大都市制度調査會
- 九、警視廳防疫評議委員會
- 一〇、東京市道路評議會
- 一一、臨時神戸港設備委員會
- 一二、臨時門司港陸上設備委員會
- 一三、臨時脚氣病調査會
- 一四、特殊權利審査會
- 一五、公民教育調査委員會
- 一六、帝國大學經理委員會

- 一七、不當廉賣審査委員會
- 一八、炭坑爆發豫防委員會

言上

本年七月二十一日(即特別議會終了後間モナリ)
豫テ政府カ聲明シタル行政財政整理ノ事業ヲ
實行スル為閣議ノ決定ヲ以テ大藏大臣外二人
ノ委員ニ指名シ整理案ノ立案ニ當ラシム
委員ハ爾來起草ヲ急キ九月二十四日ニ至リ閣
議ニ整理案ヲ報告ス

閣議ニ於テハ九月二十四日以來十二回ノ閣議ヲ
經成案ヲ得今其梗概ヲ擧クレハ左ノ如シ

第一 行政整理

一 行政ノ系統ヲ整理シ經費ノ節約ヲ為ス